

表 3-1 薬品注入実績 (R4~R6) ※  
粉末活性炭注入実績

	粉末活性炭注入率 (mg/L)
最大	38
最小	0
平均	17

## 久里第一浄水場薬品注入実績

	バック注 入率 mg/L	苛性ソー ダ注入率 mg/L	塩素注入率		
			前	中	後
			mg/L	mg/L	mg/L
最大	73	14.6	3.1	1.4	1.1
最小	35	2.2	0.1	0.1	0.1
平均	49	6.3	1.4	0.7	0.5

苛性ソーダは平成30年6月までの値

## 久里第二浄水場薬品注入実績

	バック注 入率 mg/L	苛性ソー ダ注入率 mg/L	塩素注入率		
			前	中	後
			mg/L	mg/L	mg/L
最大	73	2.7	2.5	1.3	0.8
最小	36	0.3	0.0	0.1	0.0
平均	48	1.7	1.1	0.7	0.3

苛性ソーダは平成30年6月までの値

## 和多田浄水場薬品注入実績

	バック注 入率	苛性ソー ダ注入率	中塩素注 入率	後塩素注 入率
最大	33	7.0	2.0	1.1
最小	20	4.6	0.5	0.4
平均	25	6.0	0.9	0.6

### 3) 薬品注入率の設定

伏流水が混合される場合は臭気物質濃度や濁度、有機物濃度が僅かながら低下するために、粉末活性炭やパック、塩素注入率は低下する方向となる。一方、総硬度や蒸発残留物は伏流水が混入することで僅かながら低下するために、消石灰や炭酸ガス注入率は増加することが想定される。そこで、粉末活性炭やパック、塩素は現況を参考とし、消石灰と炭酸ガスについては松浦川単独の場合と伏流水混合時を計算で求め、どちらでも対応できるように設定する。結果は表 6-1 に示す通りであり、根拠を以下に示す。

表 6-1 薬品注入計画

薬品	最大	最小	平均
粉末活性炭※	40	3	17
消石灰合計	30	10	19
前消石灰	24	8	14
後消石灰	6	2	5
炭酸ガス	29	8	19
前パック	80	20	50
後パック	3	0.5	1
前々塩素	3	0.5	1
前塩素	3	0.5	1
中塩素	2	0.3	1
後塩素	1.5	0.1	0.5

#### a. 粉末活性炭

臭気物質濃度は伏流水によって希釈されるが、安全を見込んで実績に基づいて以下の通り設定する。

最大注入率        40 mg/L

最小注入率        3 mg/L

平均注入率        17 mg/L

#### b. 消石灰および炭酸ガス

目的は浄水の腐食性改善とし、現況施設計画時と同じくランゲリア指数-0.8 を目標とする。アルカリ度を補給することにより、凝集処理に必要な前アルカリ供給効果も同時に得る。

消石灰、炭酸ガス注入率の計算

- 原水水質と、最終浄水目標水質 (pH7.5、La-0.8) から消石灰の合計注入率を算出。
- 合計注入率のうち、前消石灰の比率を設定する。